

<対策のポイント>

シカによる森林被害が深刻な地域等で、林業関係者が主体となった広域かつ計画的な捕獲等の取組をモデル的に実施するとともに、シカ被害対策の普及を加速化するためのマニュアルの整備等を実施します。

<政策目標>

事業実施地域におけるシカによる森林被害面積の変動率【a】が周辺地域の平均変動率【A】を下回ること（ $a - A < 0$ ）。

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. シカ森林被害防止緊急対策 125,887（158,535）千円

○シカによる森林被害が深刻な地域において、再生林を実施する箇所を重点的に林業関係者が主体となってシカの広域かつ計画的な捕獲等をモデル的に実施するとともに、その成果を周辺地域へ普及します。

また、新たにシカの侵入が危惧される地域等において、再生林を実施する箇所を重点的に、GPS等により森林でのシカの行動を的確に把握することで監視体制を強化します。

2. シカ被害対策推進調査事業 6,111（7,000）千円

○高度で効率的な被害防止対策の推進を図るため、森林の現況や周囲の状況、シカの生息密度等とシカ食害状況等を基に、被害発生リスクの調査分析等を行います。

3. シカ被害対策普及加速事業 10,500（-）千円

○シカの広域かつ計画的な捕獲を行うモデル事業実施地域等において、地域の環境条件等を踏まえつつ捕獲頭数等実績と地域の取組との関係を比較分析し、シカの捕獲手法の効果的な普及に資するマニュアルの整備等を実施します。

【モデル的な捕獲等の実施】

ICTを活用した捕獲



シカ進入状況の通知とわなの遠隔操作

林業関係者による捕獲



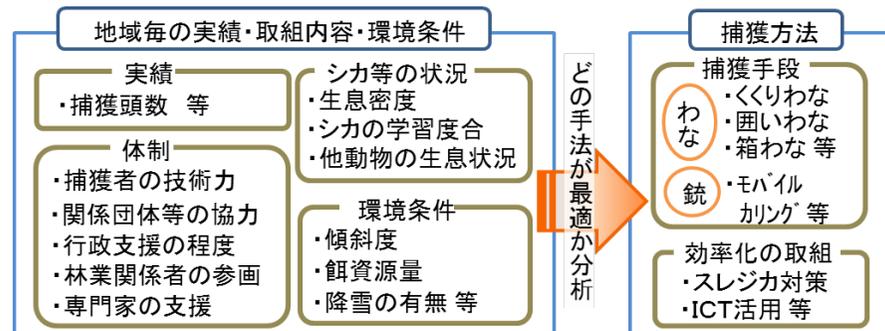
シカの生息状況を踏まえてくりわな設置

GPSによる行動把握



シカの行動を地図上に表示

【条件に応じた捕獲方法をマニュアル化】



<事業の流れ>



1の一部は国有林による直轄事業